

役員紹介



経済同友会 代表幹事

「次世代人材教育のために望ましい 産学連携教育の推進を」

グローバル化の進展のなか激動する経済社会に巣立っていく学生たち にとって、キャリア教育の必要性は、これまでになく高まっています。

一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会は、こうしたニーズ を背景に、望ましい産学連携によって学生の成長を支援するために設立 されました。

本協会のインターンシップは、意欲ある学生たちが、日本を代表する 有力企業を中心に実社会で学ぶことで、大きな成長を促すものです。

大学・高専は正課として単位を付与し、企業は真摯な現場指導ととも に費用を負担するなど、産学の望ましい連携を実現しています。

本協会は、このように次世代人材の育成を通じて広く社会に貢献して参りますので、価値観を共有する多くの皆様にご入会を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



代表理事

横尾 敬介

産業革新投資機構 代表取締役社長 CEO

「企業という実社会で学ぶ リアリティが学生を成長させる」

これからの混沌とした時代を生きていく学生たちにとって、教育効果の 高いインターンシップは一層重要性を増しており、企業という実社会の場 で学ぶリアリティは、教育機関が提供できない貴重な体験です。

企業では、さまざまな価値観を持つ人々がその能力に応じて役割を担い、協力し合うことで、全体の成果に結びつけています。

本協会のインターンシップは、意識の高い学生たちが早い時期からこうした人々に学ぶ機会を提供しており、多くの"気づき"を得ることができます。

教職員の皆様には、貴重で得がたい体験を経て、キャリア・デザイン を描きながら努力する学生たちの成長支援をお願いいたします。

本協会は、学生時代にしっかり学び、卒業後に社会で活躍する若者たちをサポートして参りますので、志を同じくする皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

専務理事・事務局長



藤巻 正志

元経済同友会 執行役

理事



天羽 稔 TGA 取締役会長 デュポン 元名誉会長



大久保 伸一 凸版印刷 代表取締役副社長 執行役員



野村證券顧問



聖心女子大学 学長上智大学 名誉教授

監事



小野 傑 西村あさひ法律事務所 オブカウンセル



斎藤 敏一 ルネサンス 代表取締役会長

協会概要

望ましい産学連携教育を実践する観点から、「経済同友会インターンシップ」を主催する一般社団法人であり、本インターンシップに参加する経済同友会会員企業の有志と大学・高専が会員となっています。

協会は、大学・高専の正課として実施される本インターンシップに関して、会員の意向をベースに適切なマッチングを行うことで学生の成長に貢献し、報告・交流会の開催により、成果の共有と会員相互の連携に寄与しています。



一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会



2019年4月1日



T100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-6 日本工業倶楽部別館5階

経済同友会事務局内

電話: 03-4582-4594 E-mail: kyokai@doyukai-internship.or.jp



代表理事 横尾 敬介



当協会は、学生の成長を支援するため、次の内容に関する活動を行います。

- ①学生と企業を適切にマッチングするための情報の収集及び提供
- ②会員、経済同友会関係者、学生、インターンシップOB・OGによる交流会の運営
- ③インターンシップの推進、調整、実態把握および連携協力



20万円



正会員 40万円*

※大学・高専は派遣学生数6人まで同額。7人目から別途1人2万円追加。

準会員 5万円

会員一覧

正会員(企業) 24社











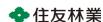




















1日本カーバイド工業株式会社



NOMURA











MIZUHO みずほ証券

正会員(大学等) 17校・1機構

国立大学



















公立大学











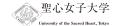


🍆 東洋大学



RYUKOKU UNIVERSITY





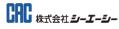


高専





賛助会員











【正会員(企業)】

アスクル、イオン、花王、キッコーマン、キッツ、久慈設計、KDDI、ケマーズ、コニカミノルタ、 小松製作所、住友林業、損害保険ジャパン、第一生命保険、デュポン、凸版印刷、日本カーバイド工業、 日本信号、野村ホールディングス、東日本旅客鉄道、みずほ証券、三井住友銀行、三井不動産、 三菱ケミカル、ユー・エム・アイ

【正会員(大学等)】

北海道大学、小樽商科大学、東北大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、新潟大学、九州大学、琉球大学、 岩手県立大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、高知工科大学、工学院大学、上智大学、 昭和女子大学、聖心女子大学、東洋大学、龍谷大学、国立高等専門学校機構

【準会員】シーエーシー、全日本空輸、ソマール、津田塾大学 【 賛助会員】日本学生支援機構

インターンシップ概要

基本枠組み

| 対象は大学1・2年生/高専本科4年生・専攻科1年生

大学は文系・理系の1・2年生対象。早期の実社会体験で得た様々な気づきを以後の学修やキャリア形成に活かす。

02 大学・高専の正課として単位化

教員もプログラム内容に関与し正課(授業)として実施。事前・事後学修を含めた 教育指導により成長を促す。

2 実習期間は原則4週間

望ましい産学連携により教育効果の高いインターンシップを展開。期間は原則4週間 (事前・事後学修含む場合あり)。

日本を代表する有力企業中心に学生を受入れ交通費・宿泊費を支給

各企業の本社・支社・研究所・工場・事業現場等で実施。企業が交通費・宿泊費を支給し学生の経済的負担を軽減。

費用負担

学生の経済的負担に配慮し、地方大学の学生にもチャンスを与える観点から、実習先までの交通費と 実習期間中の宿泊費は、受入企業にご負担いただいています。

実施実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度*
企業	16社	23社	28社	24社	11社
大学・高専	11校	13校	15校	14校	17校
学生	67人	121人	138人	123人	61人

プロジェクト

オンライン教育価値向上プロジェクト

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、対面での実習が困難となった2020年度のインターンシップ実習を踏まえ、2020年10月に会員企業や大学の協力を得て、「2021年度経済同友会インターンシップの実施を含めたウィズ/アフター期におけるインターンシップの望ましい在り方」をテーマとする本プロジェクトを立ち上げた。

目 的

- ①ウィズ/アフターコロナ時代にインターンシップの教育効果をより確かなものとするために、対面と オンラインの併用による企業実習の望ましいあり方を考えることを目的とする。
- ②オンライン実習の教育価値向上の施策について論点整理を行い、その成果を全会員が共有し、実践することを目的とする。

活動

2020年度のインターンシップ実習実践例から、オンライン実習の「強み」と「弱み」、そして対面型のメリットを認識したうえで、これらを効果的に組み合わせる方法などを論点として全3回の検討会議を実施した。

検討に際しては、事前に行った2020年度経済同友会インターンシップに関する企業・大学・学生からのアンケート結果を参照し、各委員が論点に関する自らの見解をまとめ、委員相互で発表し議論を行った。

成果

本プロジェクトにおける論点および議論の到達点を明らかにするとともに、ウィズ/アフター・コロナ期を見据えた教育効果の高い産学連携教育の在り方を示すため、「オンライン実習に関する教育価値向上のポイントについて(報告)」を公表した。

報告書内では、オンラインと対面での実習を比較し、オンライン実習の「強み」と「弱み」を認識 したうえで、非常時対応としてのオンライン実習でなく、学習成果向上策として位置づけ、対面実習 との望ましい組み合わせを検討し、今後のインターンシップの在り方について提言した。

◆「オンライン実習に関する教育価値向上のポイントについて(報告)」PDF URL https://www.doyukai-internship.or.jp/pdf/internship_online.pdf





一般社団法人 経済同友会インターンシップ推進協会

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-6 日本工業倶楽部別館5階 経済同友会事務局内

電話: 03-4582-4594

E-mail: kyokai@doyukai-internship.or.jp https://www.doyukai-internship.or.jp